第 11 講 【現代編】経済危機と第二次世界大戦
PART1 日本経済の急展開と満州事変

Chapter1　日本経済の急展開

目標
重なる不況が日本の政治に与えた影響を考えよう。
不況の中で日本の財界に起こった変化をおさえよう。

1 大正時代の日本経済

「光の世界から闇の世界へ」

①〔　　　　〕**景気**（1915～18年）→原因はヨーロッパでの**第一次世界大戦**

A 大幅な輸出超過（ヨーロッパ・アジア・アメリカ向け）

B 債務国から債権国へ→日露戦争後の不況を脱出

C 金本位制から離脱（1917年）→アメリカ参戦のため

D 工業生産額が農業生産額を追い越す

②〔　　　　〕**恐慌**（1920年）→原因は**第一次世界大戦の終了**

A 輸出不振・生産過剰

B 日本の株式市場が大暴落

C 政府・日本銀行が大企業を中心に救済
このため**企業の合理化や財界の整理が進まず不景気が長期化**
※金本位制に復帰できず欧米諸国に取り残される。

③〔　　　　〕**恐慌**（1923年）→原因は**関東大震災**（９月１日）

A 緊急勅令による１カ月間のモラトリアム〔支払猶予令〕

B 震災手形割引損失補償令→日本銀行の特別融資と政府の保障

C 決済不能の**震災手形**が残存

D 東京復興のための膨大な国家支出→輸入が急増

E 不景気下にインフレーション〔物価高〕が発生→スタグフレーション

関東大震災

2　昭和時代初期の日本経済

「出口のないトンネル」

①〔　　　　〕**恐慌**（1927年）→原因は震災手形処理の不手際（背景に慢性的不景気）

A　預金者の不安から**取付け騒ぎ**が起こる

B　**鈴木商店の破産**による**台湾銀行の休業**

C　憲政会の第一次若槻礼次郎内閣（片岡直温蔵相）が台湾銀行救済の緊急勅令案を提出

D　憲政会の協調外交に対する不満から枢密院が否決→若槻内閣総辞職

E　**立憲政友会**の田中義一内閣（**高橋是清蔵相**）が組閣し**積極財政〔インフレ財政〕**に

F　３週間のモラトリアム〔支払猶予令〕

G　日本銀行の非常貸出・特別融資および台湾銀行救済が決定

H　慢性的な不景気下にインフレーション〔物価高〕が拡大

I　**五大銀行に預金が集中**し〔　　　　〕支配も強化

②〔　　　　〕**恐慌**（1930～31年）→原因はアメリカ発の〔　　　　〕**恐慌**

A　**立憲民政党**浜口雄幸内閣（**井上準之助蔵相**）の**緊縮財政〔デフレ財政〕**

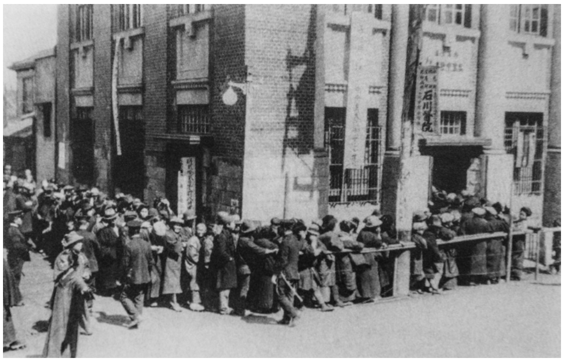
B　産業合理化により国際競争力のない不良企業を整理・淘汰

C　**世界恐慌（1929年10月24日）**→ニューヨークのウォール街における株価大暴落

D〔　　〕**輸出解禁**（1930年）→輸出の減少と輸入の激増・金の大量流出

E　大不景気となり失業者が増大・欠食児童・娘の身売りなど

F　**重要産業統制法**（1931年）→〔　　　　〕**支配が進展**し〔　　　　〕も批判される



金融恐慌の取付け騒ぎ

まとめ　不況が続く中，状況を好転できない政党への批判が高まった。
不景気の中で大企業の救済や，整理・淘汰により財閥支配が強まった。

Chapter2　満州事変と日本の国際的孤立

目標
日本が満州事変を起こした目的を考えよう。
満州事変以後の，日本の国際社会での立場をおさえよう。

1　満州事変（1931～33年）

「満蒙は日本の生命線」（松岡洋右）「世界最終戦論」（関東軍石原莞爾）

1931年　三月事件→陸軍のクーデタ未遂

〔　　　　　　〕**事件**（9 月 18 日）→〔　　　　　　　　〕開始

※第二次若槻礼次郎内閣は不拡大方針を発表→**関東軍**は無視

十月事件→陸軍のクーデタ未遂

1932年　第一次上海事変→満州から列国の注意をそらすため日本が起こす。

国際連盟が〔　　　　　　　　〕**調査団**を日中両国に派遣

血盟団事件

※前蔵相井上準之助・三井財閥団琢磨を民間右翼の血盟団が暗殺。

満州国建国

※清の最後の皇帝だった〔　　　　〕を執政とする。

〔　　　　　　　　〕**事件**

※満州国承認をしぶる立憲政友会の〔　　　　　　〕**首相**を，
海軍青年将校・陸軍士官学校生・民間右翼らが暗殺し，戦前
の政党内閣時代 “ 憲政の常道 ” は終わる。

溥儀

日満議定書

※海軍の斎藤実「挙国一致」内閣が満州国を承認し日本の支配下に置く。

リットン報告書発表→日本に満鉄付属地内への撤兵を求める

1933年　日本が〔　　　　　　　　〕を脱退を通告

※リットン報告書に基づく日本への勧告案が臨時総会で全会一致（棄権 1 ）で賛成され，日本全権**松岡洋右**が退場。

塘沽停戦協定→満州事変は収束

滝川事件〔京大事件〕→自由主義者も言論弾圧を受ける

2　日本の国際的孤立

「華北分離工作」へ

1934年　満州国帝政開始→溥儀が皇帝に

帝人事件で斎藤実内閣（海軍）退陣→岡田啓介内閣（海軍）へ

1935年　**天皇機関説問題・国体明徴声明**→美濃部達吉の天皇機関説を否定

華北分離工作を計画→冀東防共自治委員会（のち冀東防共自治政府の成立）

1936年　〔　　　　　　　　〕事件

※陸軍皇道派の青年将校らによるクーデタ。〔　　　　　　　　〕蔵相・斎藤実内大臣・渡辺錠太郎陸軍教育総監（陸軍統制派）らを殺害。**北一輝**らが処刑される。

※岡田啓介内閣は退陣，陸軍統制派の影響下に広田弘毅内閣（文官）が組閣。

ロンドン海軍軍縮条約・ワシントン海軍軍縮条約が失効

二・二六事件のアドバルーン

まとめ

日本は「円ブロック」経済圏を形成し昭和恐慌から脱するため，満州事変を起こした。

日本は国際連盟から脱退，海軍軍縮条約も失効し国際社会から孤立した。

第11講 PART1 確認問題

1 日本で 1920年代から 1930年代に起こった恐慌を順に並べたものとして正しいのはどれか。

① 金融恐慌→昭和恐慌→震災恐慌
② 金融恐慌→震災恐慌→昭和恐慌
③ 震災恐慌→金融恐慌→昭和恐慌
④ 震災恐慌→昭和恐慌→金融恐慌

2 金融恐慌のできごとにあてはまるのはどれか。

① 1カ月間のモラトリアム　② 金輸出解禁
③ 重要産業統制法の制定　④ 五大銀行への預金集中

3 世界恐慌をきっかけとして起こった恐慌はどれか。

① 震災恐慌　② 金融恐慌
③ 戦後恐慌　④ 昭和恐慌

4 金融恐慌に対処した田中義一内閣時の政党と蔵相の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 立憲政友会：高橋是清　② 立憲政友会：井上準之助
③ 立憲民政党：高橋是清　④ 立憲民政党：井上準之助

5 昭和恐慌で，緊縮財政をおし進めた蔵相はだれか。

① 井上準之助　② 松方正義
③ 高橋是清　④ 浜口雄幸

6 前蔵相の井上準之助や三井財閥の団琢磨が暗殺された事件はどれか。

① 三月事件　② 十月事件
③ 五・一五事件　④ 血盟団事件

7 国際連盟の臨時総会で，リットン報告書に基づき対日勧告案が出されたときの日本全権はだれか。

① 斎藤実　② 松岡洋右
③ 岡田啓介　④ 渡辺錠太郎

8 国体明徴声明を出した内閣はどれか。

① 岡田啓介内閣　② 斎藤実内閣
③ 広田弘毅内閣　④ 犬養毅内閣

9 二・二六事件で暗殺されたのはだれか。

① 高橋是清　② 犬養毅
③ 井上準之助　④ 松岡洋右

10 二・二六事件後，処刑されたのはだれか。

① 滝川幸辰　② 北一輝
③ 橋本欣五郎　④ 大川周明

第 11 講　PART1　確認問題 解答

1 解答：③　大戦景気（1915 ～ 18 年）→戦後恐慌（1920 年）→震災恐慌（1923 年）→金融恐慌（1927 年）→昭和恐慌（1930 ～ 31 年）の順。

2 解答：④　金融恐慌（1927 年）では，3 週間のモラトリアム〔支払猶予令〕が行われた。

①：震災恐慌（1923 年）の際に行われた。
②：昭和恐慌（1930 ～ 31 年）の原因の一つ。
③：昭和恐慌（1930 ～ 31 年）の際に行われた。

3 解答：④　世界恐慌は 1929 年に発生し，1930 年に昭和恐慌が始まった。

①：関東大震災をきっかけとして，1923 年に起こった恐慌。
②：震災手形処理の不手際が原因となり，1927 年に起こった恐慌。
③：第一次世界大戦の終了が原因となり，1920 年に起こった恐慌。

4 解答：①　高橋是清蔵相は，積極財政〔インフレ財政〕をおし進めた。

②：井上準之助蔵相は昭和恐慌時の蔵相。
③：立憲民政党は昭和恐慌時の浜口雄幸内閣時の政党。
④：いずれも昭和恐慌に対処した浜口雄幸内閣時。

5 **解答：①**　井上準之助蔵相は，金輸出解禁も実行した。

②：1880 年代に緊縮財政〔デフレ財政〕をおし進めた蔵相。

③：金融恐慌時に積極財政〔インフレ財政〕をおし進めた蔵相。

④：昭和恐慌時に緊縮財政〔デフレ財政〕をおし進めた首相。

6 **解答：④**　血盟団事件は民間右翼の血盟団が起こした事件。

①：1931 年に起こった陸軍のクーデタ未遂。

②：1931 年に起こった陸軍のクーデタ未遂。

③：1932 年，海軍青年将校が犬養毅首相を暗殺した事件。

7 **解答：②**　松岡洋右は国際連盟の臨時総会から退場した。

①：満州国を承認した首相。

③：帝人事件で退陣した斎藤実内閣に代わって，組閣した首相。

④：二・二六事件で暗殺された陸軍教育総監。

8 **解答：①**　岡田啓介内閣は，美濃部達吉の天皇機関説を否定した。

②：満州国を承認した内閣。

③：二・二六事件の後に組閣された内閣。

④：満州国建国と承認に反対した内閣。

9 **解答：①**　二・二六事件は，陸軍皇道派の青年将校らによるクーデタ。

②：五・一五事件で暗殺された首相。
③：血盟団事件で暗殺された前蔵相。
④：国際連盟臨時総会に出席した日本全権。

10 **解答：②**　北一輝は超国家主義的な国家改造を主張し，二・二六事件の主謀者とみなされた。

①：滝川事件で大学教授の職を追われた京大教授。
③：三月事件，十月事件を計画した陸軍軍人。
④：三月事件，十月事件の計画に加わった日本主義･大アジア主義者。